

区民会議における参加と協働の取組状況

		取組	課題
形成過程	区民会議の流れ 課題の把握 委員、区役所等が把握する課題の集約・整理 ▼ 審議事項の選定 区民会議で調査審議すべき課題の選定 ▼ 課題の共通理解 委員、行政、関係者等からの情報提供により、現状を把握し、共通認識を得る ▼ 解決策の検討 短期・中期的目標を定め、区民、行政、関係団体の役割分担を決める ▼	地域課題の集約 ・委員からの意見聴取 ・市政だより、ホームページなどによる意見募集 ・提案箱の設置 ・区民へのアンケート ・傍聴者アンケート ・フォーラム参加者アンケート	・委員個人や所属団体が認識している課題が中心になる ・課題を的確に集約・選択するのが難しい ・提出される意見が少ない ・区民が主体となって課題解決できる分野が限られてくる
	運営上の工夫 ・平日夜間に開催 ・全委員に意見を述べる機会を設ける ・会議前の事前調整 ・区役所以外の場所で開催	・発言が一部の委員に偏る ・日程調整が難しい ・自分が所属する以外の専門部会の内容をよく知るためには、他部会の傍聴なども必要 ・傍聴者が少ない	
	情報発信・共有 ・市政だより、ホームページ ・区民会議だより(ニューズレター) ・区版 特別号 ・フォーラム、報告会 ・出前フォーラム ・チラシの発行 など	・区民会議の認知度の向上 ・広報効果の検証 ・新たな広報媒体の検討 ・地域ポータルサイトを活用	
	区民意見の把握 ・フォーラム、報告会の開催 ・区民会議だより(ニューズレター)による意見募集 ・傍聴者アンケート ・区内関係団体との意見交換 など	・幅広い意見の集約 ・提出意見が少ない ・区民会議委員のネットワークを活用した意見収集を検討	
	課題解決の取組 ・主に区民の自主的な取組による解決 ・区民と区役所が協働で解決 ・関係局区の調整により市として解決 ・条例・規則等ルールの整備により解決 ・国、県など他の行政主体等により解決 区民会議委員、区民、関係団体、行政等がそれぞれ役割分担して取組	課題解決の取組 ・事務局が関係部署・関係団体等と連絡調整し、課題解決へつなげる ・審議結果を「区民会議からの提言」として掲げ、具現化するための取組を示して実行 ・委員の出身母体や関係団体に働きかける	・取組を地域に広げることと継続して実行していくこと ・より多くの提言を実行する受け皿の確保 ・審議結果によっては、実行が難しいものもある ・協力を依頼する場合は、提案前から関係団体へコミットしておく必要がある
執行過程	活動事例 ・外国人市民向け広報として、携帯電話向けメールマガジンの配信【川崎区】 ・資源集団回収活動の地域別の実施情報を掲載した冊子を作成し、配布【幸区】 ・商店街と連携した地域のまちづくり推進事業【中原区】 ・子育て関係団体と区民会議委員による防災に関する座談会の開催【高津区】 ・公園体操の立ち上げを支援し、マップ・オリジナル体操を作成【宮前区】 ・市民活動支援コーナーの環境整備【多摩区】 ・生ゴミのリサイクルと地産地消【麻生区】		
	区民会議の取組への評価 ・フォーラム、報告会の参加者へのアンケート ・区民会議傍聴者へのアンケート ・関係機関から意見聴取	・評価とその結果の反映までなかなか審議できない ・区民会議全体ではなく、一部取組の評価に偏る ・区民会議により多くの人が参加してもらい、取組を評価してもらえるよう取り組む	
評価過程			

区民会議における参加と協働の取組状況一覧

		川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区
地域課題の集約	現状	・区民会議委員から意見聴取 ・「区民ポスト」を設置	・委員からの意見聴取 ・区民アンケートを参考資料として活用	・区民会議委員から意見聴取 ・区民会議委員へのアンケート調査 ・区民会議だよりによる意見募集 ・傍聴者アンケートによる意見募集	・提案箱の設置 ・ホームページでの意見募集 ・区民会議委員から意見聴取	・市、区に寄せられた意見 ・市民アンケート、傍聴者アンケート ・過去に行われた区づくりプラン、都市マスでの意見 ・委員からの意見	・区民会議委員から課題を集約	・市政だより区版、ホームページ、区民会議ニュース、タウン誌による意見募集 ・区民会議傍聴者アンケート ・区民フォーラム参加者アンケート
	課題	・委員個人や所属団体が認識している課題が中心になる傾向 ・区民の多くが解決を望んでいる課題を的確に選択するのが困難	・委員個人の認識している課題が中心になる傾向 ・区民の多くが解決を望んでいる課題を的確に選択するのが困難	・区民に広く呼びかけた結果、さまざまな地域課題が寄せられ、課題を的確に選択するため時間を要した	・意見募集の件数が少ない ・認知度の向上や区民会議への理解を深める必要がある	・個人的関心事になることもある ・区民が主体となって課題解決できる分野が限られてくる	・委員個人や所属団体が認識している課題が中心になる傾向 ・区民が主体となって課題解決できる分野が限られてくる	・区民からの具体的な提案・意見の提出が少ない
主な審議課題		・地域力、地域のつながり ・地域環境とエコ	・地域防犯活動の推進について ・地域コミュニティ活動の推進について	・地域で取り組む放置自転車問題 ・これからの地域コミュニティづくりを考える ・まちの魅力を見つける	・地域防災とコミュニティ ・環境まちづくり	・地域コミュニティの活性化を目指し、「公園」と「地域の資源」に着目して審議	・コミュニティづくり、世代間交流、地域交通、道路整備 ・藤子・F・不二雄ミュージアムへのアクセスロード整備	・文化芸術・地域活性化、市民活動推進、地域交流・子育て ・エコのまちあさおの推進
専門部会の設置		・幹事会 ・地域力・つながり部会 ・区民が取り組む環境エコ部会 ・実効性を高める部会	・企画運営部会 ・安全・安心・生きがい部会 ・子育て・環境・魅力づくり部会	・運営部会 ・課題調査部会 ・協働推進事業検討部会	・企画運営会議	・企画部会 ・公園・地域づくり部会 ・宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会	・企画部会 ・地域コミュニティ部会 ・環境・観光部会	・企画部会 ・地域交流部会 ・環境部会
形成過程	現状	・平日夜間に開催 ・各委員が1回は発言できるようにする	・専門部会での審議状況の発表者を順番で受け持ち ・委員が発言できる時間を十分設ける	・夜間における区民会議の開催 ・取り扱う内容によっては、委員全委員に発言の機会を設ける	・専門部会を作らず、全委員で議論 ・企画運営会議において、調整を行う ・全委員参加による学習会、現地調査を実施	・正副委員長以外の委員は専門部会に所属し、活発に議論 ※正副委員長はオブザーバー参加 ・区役所以外の会場で開催	・平日夜間に開催 ・企画部会、正副委員長による事前調整	・全体会議では全委員に発言を促す
	課題	・委員が多忙なため、日程調整が困難		・子育て中の方や働いている方など委員構成が幅広いため、開催時間の設定が難しい	・企画運営会議を担う委員の役割が多くなる	・自分が所属する以外の専門部会の内容をよく知るためには、他部会の傍聴なども必要 ・傍聴者が少ない→広報が必要	・委員が多忙なため、日程調整が困難	
情報発信・共有	現状	・市政だより、ホームページ ・区民会議だより ・市政だより区版特別号 ・区民会議集会(予定) ・報告書(予定)	・市政だより、ホームページ ・区民会議だより ・フォーラム ・さいわい広報特別号	・市政だより、ホームページ ・区民会議だより ・市民報告会	・市政だより、ホームページ ・「たかつ区民会議ニュース」の発行 ・広報用チラシの配布 ・地域団体会合での周知	・市政だより、ホームページ ・区民会議だより ・地域ポータルサイトにおいて、SNS上で情報交換	・市政だより、ホームページ ・フォーラム ・区民会議ニュース	・市政だより、ホームページ ・区民会議ニュースの発行 ・出前フォーラムの開催
	課題	・認知度向上のため、新たな広報媒体の活用を検討	・どのように区民会議の認知度を上げていくか	・傍聴者も発言できる会議と想っている人がいるため、審議会としての区民会議の認知度を高める必要がある	・閲覧される資料が多いため、「たかつ区民会議ニュース」の町会回覧の効果が不明 ・情報発信手法の検討が必要	・区民の関心をひくことが難しい ・区民会議からの提案に多くの区民が参加していくためには、認知度の向上が必要	・区民会議の名前は知られていても活動内容は知られてなく、情報発信が必要	
区民意見の把握	現状	・区民会議集会を開催し、区民と意見交換 ・専門部会に区内で活動している人を招く	・フォーラムの開催	・市民報告会 ・「区民会議だより」による意見募集 ・傍聴者アンケートによる意見募集	・現地調査に地元町内会が参加し、意見交換 ・区民会議委員と子育て中の親との座談会	・フォーラムをワークショップ形式で開催 ・会議傍聴者へのアンケート ・区民会議だよりでの意見募集	・フォーラムの開催	・会議傍聴者へのアンケート ・出前フォーラム参加者へのアンケート ・提案箱
	課題	・委員以外の意見を把握する機会が限られている。効果的な方法の検討が必要	・フォーラムの開催だけでは、幅広い意見を集約できない。		・区民会議委員のネットワークを活用し、意見収集を行うことを検討	・寄せられる意見が少ない ・建設的な意見が少なく、陳情・要望の類が多い	・委員以外の意見を把握する機会が限られている。効果的な方法の検討が必要	・寄せられる意見が少ない
執行過程	現状	・事務局が区民団体や関係部署との調整役になり、取組につなげる	・審議結果を「区民会議からの提言」として掲げ、実現のため具体的な取組を示して実行している	・委員の出身団体の活動の中で実施 ・行政が協働推進事業、区課題事業の中で実施	・事務局が関係部署と調整するとともに、区民会議委員の出身母体や関係団体に対して働きかける	・事務局が関係団体に対する説明・協力依頼を行う ・行政が協働推進事業、区課題事業の中で実施	・事務局が関係部署と調整するとともに、区民会議委員の出身母体や関係団体に対して働きかける	・事務局が関係部署・団体等と連絡調整を行う
	活動事例	・環境の広場農を開催 ・外国人市民向け広報として、携帯電話向けメールマガジンの配信 ・シニア世代向けとして「かわさき再発見！旧東海道川崎宿ウォーキングツアー」を実施予定	・資源集団回収活動の地域別の実施情報を掲載した冊子を作成し、配布	・放置自転車対策 ・区民交流センターの運営 ・中原区ヒートアイランド対策事業 ・商店街と連携した地域のまちづくり推進事業	・子育て関係団体と区民会議委員による防災に関する座談会の開催	・公園体操の立ち上げを支援し、マップ、オリジナル体操を作成 ・防災推進員の講座開催にあたり、自主防災組織に参加を呼びかけ	・こどもの外遊び事業 ・市民活動支援コーナーの環境整備	・区内保育園でのエコバック作り ・しんゆり芸術祭における小学生絵画の展示・美化清掃活動 ・生ゴミのリサイクルと地産地消
	課題	・取組を地域に広げることと継続して実施していくこと ・団体推進委員が自分の推薦団体に周知し、その団体が活動に参加すること	・より多くの提言を実行する受け皿の確保	・テーマによっては、委員の出身団体での取組、公募委員の取組が難しい課題もある	・委員の出身母体との情報共有を進める必要がある ・審議結果の具現化に向けて区役所内の連携を強化する必要がある	・協力を依頼する場合には、提案前の段階から関係団体にコミットしておく必要がある ・実現可能な提案になるよう、事務局からのアドバイスが必要	・地域の課題が全市的な課題につながることもあり、実行が難しい	
評価過程	現状	・区民会議集会で報告を行う予定 ・各専門部会で取組の振り返りを行う予定	・フォーラムにおける参加者へのアンケートでは、提言内容について8割以上が「よかった」と回答	・市民報告会においてアンケートを実施	・フォーラムやニーズ調査により、認知度等を把握	・区民会議において、取組状況を報告し、意見をもらう	・フォーラムを行うことにより審議内容について、意見をもらう	・出前フォーラム、実践活動後に参加委員と振り返りを実施 ・関係機関から意見聴取 ・フォーラム参加者、区民会議傍聴者へのアンケート
	課題	・評価とその結果の反映までなかなか審議できない ・次期への継続性が必ずしもあるわけではないので、評価結果を有効に活かすことができない場合もある	・区民会議やフォーラムにより多くの人に参加してもらい、取組を評価してもらうことに務める	・区民会議の活動等をPRを強化していく必要がある	・第3期の立ち上げに向けて、担うべき役割や運営方法のあり方について、評価・検討する必要がある	・報告の際、行政の取組に対する注文に終始しがちなケースがあるため、区民自らが課題解決の主体であることを自覚した意見交換が必要	・区民会議やフォーラムにより多くの人に参加してもらい、取組を評価してもらうことに努める	・区民会議全体の評価ではなく、一部取組の評価に偏る